

みずほCustomer Desk Report 2016/09/23号(As of 2016/09/22)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	公示仲値 GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	100.40	1.1190	112.27	0.9736	1.3032	0.7633
SYD-NY High	100.93	1.1258	113.50	0.9740	1.3121	0.7675
SYD-NY Low	100.10	1.1185	112.10	0.9660	1.3030	0.7610
NY 5:00 PM	100.75	1.1208	112.94	0.9686	1.3080	0.7642
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)	9.94/10.405		△25RR	1.048	Yen Call Over	
NY DOW	18,392.46	98.76	債券市場			
NASDAQ	5,339.52	44.34	日本2年債	-	-	-
S&P	2,177.18	14.06	日本10年債	-	-	-
日経平均	-	-	米国2年債	0.7703	▲0.4bp	
TOPIX	-	-	米国5年債	1.1642	▲2.3bp	
シカゴ日経先物	16,815	260.00	米国10年債	1.6183	▲3.3bp	
ロンドンFT	6,911.40	76.63	独10年債	-0.0960	▲9.8bp	
DAX	10,674.18	237.69	英10年債	0.7070	▲9.9bp	
ハンセン指数	23,759.80	89.90	豪10年債	2.0340	▲9.4bp	
上海総合	3,042.31	16.44	為替市況	USD/CNH	6.6824	0.0125
USDJPY 3M Vol	11.84	▲0.02%	商品市況	ドルインデックス	95.45	▲0.21
USDJPY 6M Vol	11.13	▲0.04%	CRB指数	186.323	1.46	
EURJPY 3M Vol	11.73	▲0.13%	NY金	1,344.700	13.30	
EURJPY 6M Vol	11.52	▲0.12%	WTI	46.320	0.98	
			Dubai Spot	44.03	0.37	

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
9月22日	15:45	仏 製造業信頼感指数	9月 103	101
	21:30	米 シカゴ連銀全米活動指数	8月 -0.55	0.15
	21:30	米 新規失業保険申請件数	9/17週分 252K	261K
	22:00	欧 ドラギECB総裁、講演	-	-
	23:00	欧 消費者信頼感・速報値	9月 -8.2	-8.2
	23:00	米 中古住宅販売件数	8月 5.33M	5.45M
	23:00	米 先行指数	8月 -0.2%	0.0%

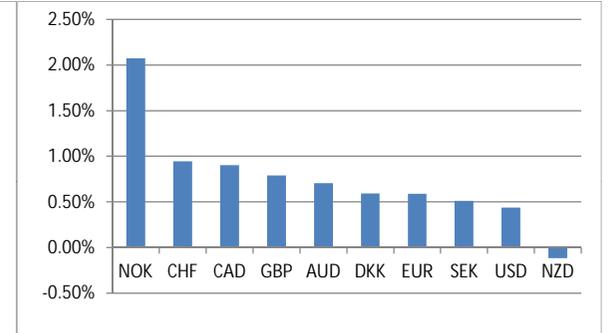
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
9月23日	16:00	仏 製造業/サービス業/総合PMI・速報値	9月 48.5/52.0/51.8	48.3/52.3/51.9
	16:30	独 製造業/サービス業/総合PMI・速報値	9月 53.1/52.1/53.6	53.6/51.7/53.3
	17:00	欧 製造業/サービス業/総合PMI・速報値	9月 51.5/52.8/52.8	51.7/52.8/52.9
	21:30	加 小売売上高/除自動車(前月比)	7月 0.1%/0.5%	-0.1%/-0.8%
	21:30	加 CPI(前月比/前年比)	8月 0.1%/1.4%	-0.2%/1.3%
	21:30	加 コアCPI(前月比/前年比)	8月 0.2%/2.0%	0.0%/2.1%
	22:45	米 製造業PMI・速報値	9月 52.0	52.0

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	100.10-101.40	1.1130-1.1250	112.50-113.50

【マーケット・インプレッション】

昨日のドル円相場は、日銀金融政策決定会合とFOMC後のドル買い戻しが優勢となり、ドル円は100円台後半まで値を戻した。日銀の新たな金融緩和と政策の枠組みはイールドカーブコントロールとオーバーシュート型コミットメントに変更され、日銀の金融政策手法は質的・量的緩和から金利目標と2%のインフレ目標にターゲットが移行した形となったが、短期的な目標達成思考は低下したように思われ、足元、ドル円の反応は限定的となっている。一方、FOMCでは12月の利上げが現実味を帯びたものの、今後発表される米経済指標が利上げを確信させる程の材料になるとは想定しづらく、ドル円は米大統領選を前に方向感を見定めにくい状況となった。本日は上記重要イベントをこなしたことから動意に乏しい展開が予想され、ドル円は100円台後半でのレンジ推移を予想したい。

アジア	前日発表された日銀金融政策決定会合結果が実効性に疑問符のつく政策変更となり、FOMCでは利上げが見送られドル安地合いとなるも、東京市場が休場となる中、ドル円の値動きは限定的となる。朝方ドル円は売り優勢の展開となり、一時100.10まで下落し約4週間ぶりの安値を更新するも、その後は米国の利上げ見送りを受けてアジア株が総じて上昇する中、100.40台まで買戻しが入った。その後暫く100.40付近で膠着するも、次第に上値が重くなり、結局100.35レベルで海外市場へ渡った。(香港14:30)
ロンドン	ロンドン時間のドル円は100円台後半まで小幅上昇。朝方は100.35レベルでオープン。欧州株が出だしから堅調となる中でクロス円が上昇し、ドル円もつれ高の展開となり、100.76レベルでNYへ渡った。ロンドンでは1.3079レベルでオープンし、1.30台半ばから後半にかけて方向感に欠ける展開となり、1.3077レベルでNYへ渡った。(ロンドン・トルリー 日比野00531 444 179)
ニューヨーク	NY市場のドル円は100.75レベルオープン。朝方発表された新規失業保険申請件数、失業保険継続受給者数、8月シカゴ連銀全米活動指数は予想を下回ったが、反応は限定的。東京市場が休場であったことや、日銀決定会合、FOMC等の重要イベントを消化したこともあり、その後は特段目立った動きが無い中、堅調なダウ株を横目にドル円は一時100.93まで上昇。結局100.75レベルで海外市場に渡った。一方ユーロドルはFOMC後のドル売りの流れを受け、堅調に推移しつつ1.1236レベルでNYオープン。朝方は高値1.1258まで上昇するが、このレベルではユーロ売り意欲も強く1.1199まで下落した後、1.1208レベルで海外市場へ渡った。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。